

【事務事業評価シートを読むポイント】

事務事業評価シート

23年度実施の事務事業 (24年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()			財務会計上の短縮番号	180
第1期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	6021	担当部課名	総合政策部行政経営課		
		担当課長名	塩川 英樹		

1 事務事業の概要

施策名	健全な行財政運営の推進	施策とはまちづくりの目標、事業とは目標を実現するための具体的な活動という関係
第1期実施計画の事業名	行財政改革推進事業	
財務会計上の事業名	行財政改革推進事業	
事業の対象【誰(何)を】	本市の行財政運営	
事業の手段【どうする(させる)ことで】	平成23年度に作成した「池田市行財政改革指針」及び「池田市行財政改革推進プラン」に沿った取組を進める。	
事業の目的【どのような結果を得るか】	財政危機の回避に加えて、安定的な行政組織の基礎を確立する。	

実施期間	23年度(平成23年度) ~ 24年度(平成24年度)
事業内容	ここでは、誰あるいは何に向けて(対象)どのような取り組みを行うことで(手段)、どのような市民の利益やまちづくりの進展を得るか(目的)を再確認します。 <small>※見直し内容を記入</small> 早期健全化団体への転落の回避に向けて、さらなる職員数の削減、事業のゼロベースでの見直しなど、平成18年3月に作成した「池田市行財政システム改革プラン」の中間見直しを行った。
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度

事業コストには、事業費だけでなく、事業に携わる人員の人件費(概算)も含めて分析します。

2 事業コスト・指標値の推移

区分	21年度(決算)		22年度(決算)		23年度(決算)		24年度(予算)		H23/H22
	事業費(千円)	101	101	109	118	107.9%			
人件費(人・千円)	0.30人, 2,460	0.60人, 4,800	0.40人, 3,200	0.55人, 4,290	66.7%				
事業内訳	正職員	0.30人, 2,460	0.60人, 4,800	0.40人, 3,200	0.55人, 4,290	66.7%			
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-			
	任期付短時間勤務職員	0	0	0	0	-			
	非常勤職員	0	0	0	0	-			
	アルバイト	0	0	0	0	-			
支出合計 A	2,561	4,901	3,309	4,408	67.5%				
国・府支出金					-				
活動指標	2,561	4,901	3,309	4,408	67.5%				
受益者負担率 B/A					-				

活動指標とは事業の中心となる活動の実績、成果指標とはそうした活動をうけて得られた市民の利益やまちづくりの進展の度合いを指します。おおまかに言えば成果指標は目的、活動指標は手段をそれぞれ数値化したものです。

区分	内容	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(予定)	目標値(H26)
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市政システム改革推進委員会、行財政改革推進委員会の開催	回	2	2	2	2
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	職員数	人	720	700	646	616
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	経常収支比率	%	98.5	93.1	101.4	90%台
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	目標の達成度と事業の今後の方針を判定するものです。別紙「平成24年度事務事業評価の概要」に集計結果を記載しています。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	
選択の理由	行財政改革は市の内部事項であり、市が主体的に取り組む必要がある。ただし、行財政改革を推進していくに当たっては、行財政改革推進委員会において、学識経験者及び市民委員など外部の者の意見も参考に行っているところである。	

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

平成23年度決算においては、黒字決算は維持したものの、経常収支比率は100%を超えたところであり、今後の市税収入の大幅な増加が見込めない中、歳出の抑制が課題である。その現状を踏まえ、平成24年度以降は、事務事業の徹底した見直しやアウトソーシングの推進など、全庁を挙げて行財政改革に着実に取り組むこと、健全な行財政運営を推進する	三連の評価を踏まえ、担当部長が事業に関する課題とその対策といった今後の方向性や見通しを記載します。
---	--